

令和3年5月24日

学校法人 溝部学園財務の現状について

令和2年度の学園の収支は、事業活動収入で1,418,812千円（前年比48,075千円減少）事業活動支出は1,388,029千円（前年比71,506千円減少）となり、事業活動収支差額は30,783千円（前年比23,432千円増加）となりました。

平成27年度より学校法人会計基準の改正により計算書類の項目の変更があり、新基準に沿って表示しています。

主な項目の変更

帰属収入⇒事業活動収入 消費支出⇒事業活動支出 帰属収支差額⇒事業活動収支差額

1. 「収支目標」について

事業活動収支差額（帰属収支差額）については毎年黒字を維持し、同比率については、例年最低5%以上を目指していましたが、令和2年度補正予算の同比率は、0.58%としていました。

2. 「令和2年度の収支状況」について

(令和2年度決算)

事業活動収入	1,418,812千円
事業活動支出	1,388,029千円
差額	30,783千円 (比率2.17%)

*今年度は高校、幼稚園の2部門で黒字決算となりました。

(収容定員充足率)

法人全体	97.65%
短期大学	90.50%

3. 「令和3年度補正予算」について

(令和3年度補正予算)

経常収入	1,382,976千円
経常支出	1,379,357千円
差額	3,619千円 (比率0.26%)

(収容定員充足率)

法人全体 94.26%

短期大学 88.75%

*収入面については、短大、歯科、高校、幼稚園の収容人員を前年対比で、それぞれ7名減、16名減、16名減、10名減と見込んで算出している。

*一方支出面は、高校トイレ改修工事、短大介護棟防水工事等を盛り込んだ結果、経常収支差額比率は0.26%を見込んでいます。

4. 経営判断指標（日本私立学校振興共済事業団）による経営状態の区分について

令和元年度の法人全体の経営状態の区分については、以下の判定結果よりA3ランクの「正常状態」の区分となりました。

- ① 教育活動資金収支差額が、3か年のうち2か年以上連續黒字の状態である。
- ② 外部負債は約定年数または10年以内に返済できる。
- ③ 修正前受金保有率の100%以上である。
- ④ 経常収支差額については、3ヵ年のうち2ヵ年以上黒字となっている。
- ⑤ 経常収支黒字幅が10%未満である。-----ここが10%以上であればA2ランクとなる。

以上5項目の指標における判定結果がA3ランクとなり、14ランク中3番目に位置し、「正常状態」にあたる区分となっています。

○定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分(法人全体) 平成27年度~

